

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

平成二十五年十月五日(土)
 第二回 日本文化と市文化財を
 守る活動を実施いたしました。
 約500名参加の歴史があり、
 現在職で十七代目です。
 大本山妙心寺の末寺にあり、枯山
 水は美しい愛知ツクリ景観資
 源に登録されている。
 また、おくまり禱の手(伝統芸能)
 にまつわるお寺として境内には
 棒塚が安置してある。

日本文化と
 市文化財を
 守る活動

尾張祖
 洞光院
 あり
 臨清宗妙心寺派
 大本山洞光院
 住職見浦大輔氏
 は東日本大震災
 を機に洞光院
 自の冠会を充足
 し、マリエイコンサ
 ートなど様々な
 ボランティア活動に
 従事する。



若山水別名聯芳庭



2013.10.05

文化財より大切な心がある。



位禪堂天井龍

本堂に80号活きると南正文作
 願はくは花の下にて春死ん
 と西行法師は詠みました。
 棒はそれほどに古今の大和人の
 心を掴んで離しません
 棒の美しさは散りぎりの美学で
 あると人は言います。
 それは大和心の錯覚です。
 棒が美しいのは千年生きた
 なおほまめかしい奴女か
 樽木木だからです。
 「あつかえてみれば」
 南正文作品集より
 「日本のヘレンケラ」
 大石順教尼(無羊の聖人)
 の最後の美子
 通酷な運命の先に見出した
 希望と再生の祈りをキャンパス
 に込めて

「雨脈を失くして生きる」それが運命という
 寺酷なものか南文に課したテーマだ。

棒塚 無二流の供養塔

見浦大輔
住職と
一橋に



2013.10.05



2013.10.05